

授業科目名	世界遺産論			科目コード	G2203P02
英文名	Theory of World Heritage				
科目区分	観光専攻科目 - コミュニケーション				
職名	教授		担当教員名	佐藤 悦夫	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	木曜日		時限	3限目	
開講時期	3年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	2020年7月現在、世界中で1121件の物件が世界遺産として登録されています。この講義では、世界遺産の登録の仕組みや動向、日本やラテンアメリカの世界遺産の事例、日本における世界遺産の保存・活用などについて講義します。テーマによっては、学生の意見を求めますので積極的に発言してください。				
キーワード	世界遺産学	平泉	五箇山	テオティワカン	マチュピチュ
到達目標	世界遺産の登録のシステムや日本の世界遺産を理解します。				
	ラテンアメリカを事例として世界遺産研究状況、活用の状況、認識の状況を理解します。				
	世界遺産の今後の在り方を検討します。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス '15回の授業内容及び評価方法についての説明を行う。また、基本的な参考文献、最近の世界遺産に関する話題を開設する。		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	世界遺産とは何か 世界遺産の歴史、ユネスコの登録システムを理解する。		
	【予習】		
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。		30分
第3回	日本の世界遺産と登録の動向 日本の世界遺産について概観し、問題点について考察する。		
	【予習】		
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。		30分
第4回	世界遺産、平泉の保全と活用 平泉の現状と課題について検討する。		
	【予習】		
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。		30分
第5回	世界遺産、五箇山の保全と活用 五箇山の現状と課題について検討する。		
	【予習】		
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。		30分
第6回	日本の世界遺産のまとめとまとめシートの作成		
	【予習】今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。		60分
	【復習】		
第7回	メキシコの世界遺産-1 メキシコの歴史を概観し、なぜ遺跡が世界遺産に多く登録されているのかを考える。		
	【予習】		
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。		30分
第8回	メキシコの世界遺産-2 メキシコの世界遺産のビデオを見ながら、現代都市が世界遺産に登録されると古代都市が世界遺産に登録されるのでは何が異なるのかを考える。		
	【予習】		
	【復習】（ 6 ）授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。		30分

第9回	メキシコの世界遺産-3 テオティワカン遺跡の研究の状況を概観する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第10回	メキシコの世界遺産-4 テオティワカン遺跡、月のピラミッドの発掘を事例に、世界遺産の価値の研究がどのように行われているのかを考える。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第11回	メキシコの世界遺産-5 テオティワカン遺跡のビデオをみながら、文明の起源に関する新しい知見を検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第12回	ペルーの世界遺産-1 マチュピチュを事例になぜ日本人に人気があるのかを考える。	
	【予習】	
	【復習】（10）授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第13回	ラテンアメリカのまとめとまとめシートの作成 ラテンアメリカのそれぞれの地域において、世界遺産がどのように認識されまた活用されているのかを理解する。日本との違いについて理解する。	
	【予習】今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	
	【復習】	
第14回	世界遺産学の構築 教員が考えている世界遺産学の構築について説明する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第15回	全体のまとめ 14回の授業全体の振り返りを行い、到達目標を確認する。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への参加度(30%)、小レポート(15%)、期末レポート(55%) また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	なし	使用資料 ＜参考図書＞	授業の最初の時間にガイダンスを行い、参考図書等について説明します。
授業外学修等	世界遺産に関する新聞記事等を読んでください。また、希望者には、7月の世界遺産検定の指導を行いますので、積極的に受験してください。		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日 1 時限（9：30～）		